

大田原市教育委員会の活動内容

平成24年度における

市教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、基本施策ごとに取り組んだ平成24年度の主な事務事業などについて、点検および評価を実施し報告書を作成しましたので、その概要についてお知らせします。

●目的

毎年、主要な施策や事務事業の取り組みについて、点検および評価を行い、課題や取り組みの方向性を明らかにすることにより、教育行政を効率的に進めるとともに市民への責任を果たし、市民に信頼される教育行政を推進することを目的とします。

●点検・評価の方法

新大田原レインボープランの基本政策に基づき実施されている主要施策を対象とし、点検・評価を行いました。点検・評価の客観性を確保するため、教育に関して識見を有する方から、ご意見をいただく評価委員会を設置しています。

なお、評価委員会の委員は次のとおりです。

評価委員会委員

花崎 宏氏(元小学校長)
弓座 恵氏(元市職員)
室井祐之氏(市区長会長)

●点検・評価の構成

- ①主な施策
- ②評価委員の意見
- ③今後の事業の方向性

教育委員会の活動についての点検および評価

教育委員会の活動状況

本市の教育委員会は、教育行政における重要事項や基本方針を決定し、それに基づいて教育長がすべての事務を執行しています。

定例会の定めはありませんが、原則、毎月開催しています。また、必要に応じて随時開催しています。

●平成24年度の活動状況

○委員会開催 16回

・付議内容

議案62件、協議26件、報告8件、選挙1件

○学校訪問

・訪問日数3日 学校数13校

○その他の活動

・議案審議などに伴う現地調査

・関東甲信越静市町村教育委員会連合会委員研修ほか

・各種大会、行事への出席

・市民憲章推進大会、大田原マラソン大会、青少年健全育成事業、成人式

・小中学校卒業式、小中学校将棋大会ほか

・評価委員の意見

●教育方針に関しては、教育委員会だけでなく、市長部局からも大田原市の教育方針を発信することによって、市民から教育行政に関する信頼を得ることができると考えられるため、教育委員と市長、あるいは市議会議員との話し合いの場を設けることを検討されたい。

また、各教育委員の教育に対する考え方、教育行政に求めるものについて、広く市民へ伝えるための機会を増やす方針を

●検討されたい。

●今後の方向性

・地域と連携し、大田原市教育行政基本方針の具現化に向けて、取り組みを強化する。

・学校訪問、学校施設などの視察など、教育現場の現状把握に努め、教育行政の改善、充実を図り、地域の実情に合った独自の取り組みを行い、更なる教育の質の向上に努める。

・より多くの市民に対して教育方針などに関する情報を発信するため、教育委員会として教育に対する考え方などを発表する場を設けることを検討する。

事務事業執行状況の点検および評価

今年度は次の事業に関する点検評価を行いました。詳細は市ホームページをご覧ください。

生涯学習の充実

- 対象事業
- ・市民憲章推進事業
- ・地区文化祭事業
- ・ふれあいの丘管理運営事業
- ・図書館管理運営事業

学校教育の充実

- ・小中学校就学援助費事業(要保護・準要保護援助)
- ・小中学校児童生徒用コンピュータ整備事業
- ・学校耐震化事業
- ・学校給食サービ事業費等補助金

青少年の健全育成

- ・地域ぐるみによる青少年健全育成事業

文化・芸術の振興

- ・移動音楽鑑賞教室実施事業
- ・歴史民俗資料館運営
- ・スポーツ・レクリエーションの振興

・大田原マラソン大会

・美原公園管理事業

・芭蕉の里くろばねマラソン大会

国際交流・国内交流の推進

・青少年交流事業

問 教育総務課 湯

TEL (98) 71111



学校給食費無料化アンケート調査結果

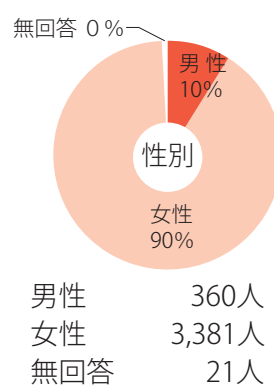
問 教育総務課 湯 TEL(98)7111

学校給食費を無料化して1年が経過したことを受け、この制度の検証を行い、今後の学校給食運営および教育や子育て環境におけるサービスの向上を図るため、保護者を対象にアンケート調査を実施しました。

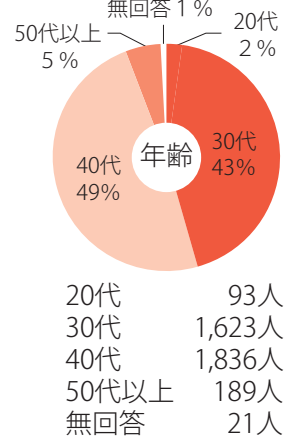
- 実施期間 7月5日～24日
- 調査対象 市内小中学校保護者
- 調査方法 学校を通して配布・回収
- 回収状況

保護者数	5,203人
集計枚数	3,762枚
回収率	72.3%

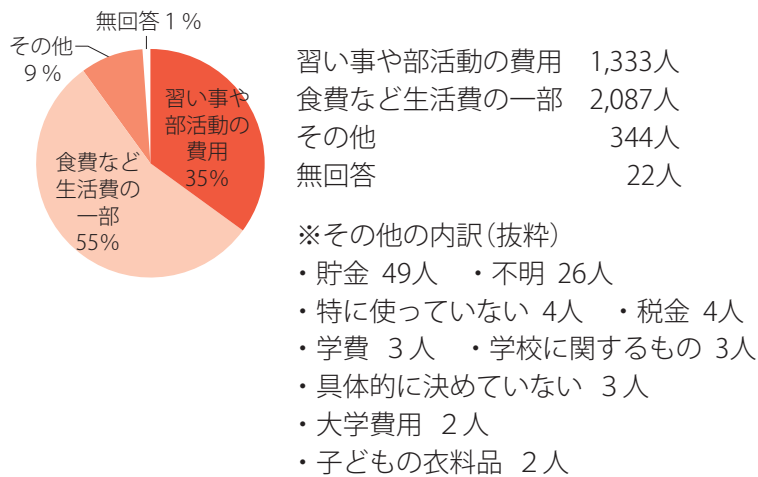
《問1》性別



《問2》年齢



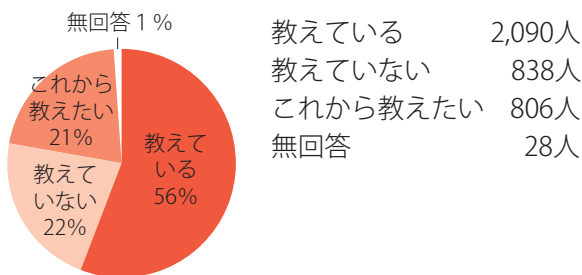
《問3》給食費として支払っていたお金の使い道(複数回答可)



保護者がこれまで給食費として支払っていたお金は「生活費として使っている」との回答が5割以上を占めており、そのほとんどが子どものために有効に使われているということがわかりました。

また、「習い事や部活動、高校・大学進学のための貯金など、子どもへの教育や将来の備えとしている」との回答も多くありました。中には、「子どもを塾に通わせることができるようになった」との回答もあり、児童生徒の教育を受ける機会を増加させたということが出来ます。

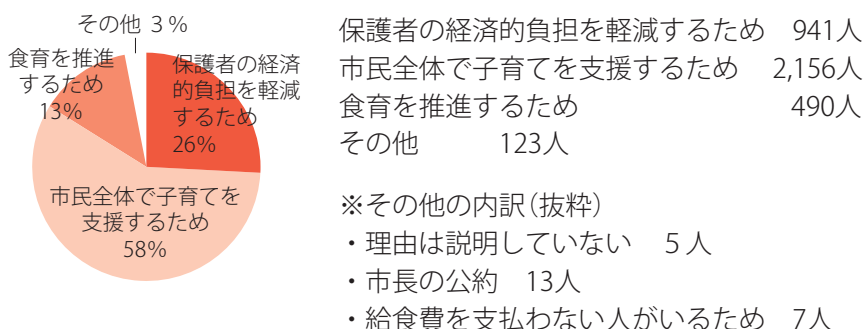
《問4》子どもに給食費が無料であることを教えているか



子どもに対して給食費が無料であることを教えたい、またはこれから教えたいと考えている保護者が全体の約8割に上り、給食に関心を持ち、親子で話し合いの場を設けている家庭が多くあることがわかりました。

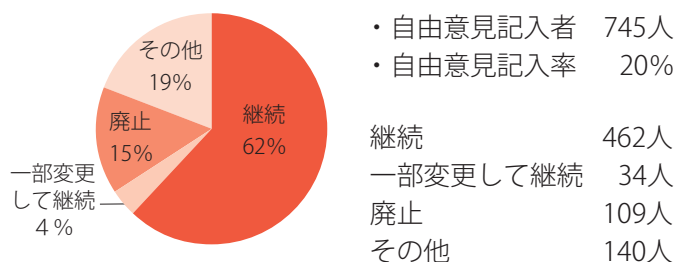
自由意見の中には、「給食費が無料であることを知らなかった」「市の広報や学校において無料であることをもっと宣伝すべき」などの意見もあり、今後は児童生徒をはじめ、広く市民に周知を図っていきます。

《問5》給食費が無料になった理由をどのように教えているか、またはどのように教えたいか(複数回答可)



給食費が無料になった理由について、「市民全体で子育てを支援するため」と教えている又は教えたいと考える保護者は6割近くとなり、給食費の無料化が、子どもたちに納税の大切さや地域住民への感謝の心を教育するきっかけとなっていることがうかがえました。

《自由意見》自由意見の内容から「継続」「廃止」「一部変更して継続」「その他」に分類して集計



全体の約2割が記入した自由意見から読み取れる結果として、給食費無料化の継続を望む保護者は6割以上、「事業内容の一部を見直し、変更して継続してほしい」という声は約5%、廃止を希望する保護者は15%でした。

事業内容の一部変更を望む意見としては、「給食費の一部を保護者が負担する」「市が給食費として負担している金額のうち半分を給食の質の向上、学校施設の整備(扇風機、エアコン、様式トイレの設置など)、教育のレベルアップ、高齢化対策等の福祉事業に使ってほしい」などがありました。

また、「給食費が無料であることに感謝する」としながらも、廃止を望む理由としては、「子どもの給食費を支払うのは親の義務であり、当然のこと」、「学力向上等、教育環境の整備や、他の子育て環境の改善を優先してほしい」という意見がありました。

○自由意見(抜粋) ※原文のまま記載しています。すべての自由意見は市ホームページでご覧いただけます。

継続を望む

- ・給食費の無料化はとても感謝しています。逆に子供のいない世帯では理解されているのでしょうか。
- ・我家では小中学生3人いるので、無料はとてもたすかります。普段はふつうに食べさせてもらっている給食ですが、震災のあとお弁当持参の日が何日かありました。その頃は食材も手に入りやすく、出勤前にお弁当3つ作りは大変でした。
- ・正直、はっとしました。給食が無料化になり、保護者の経済的な負担が軽くなったことに対して、ただ喜んでいただけでした。無料化の裏側には、市民全体のサポートがあることなど全く気付かず、もちろん子供に伝えたこともありませんでした。この機会に感謝することを教え、また、納税についてや私たちの身近にある税金によって支えられているものなどについても話してみたいと思いました。
- ・高齢社会を支えていくのは、これから育っていく子供達であり高齢者を敬う事はもちろん大切ではありますが、もっと子供を重視したこのような対策は必要な事、ありがたい事だと思っています。これからの社会を担っていく子供達が、心身共に健康に育っていくための支援を希望します。
- ・大田原へ引越してくる方が多い理由もわかりました。市全体での子育て支援に関しては他の市町村に比べてしっかり取り組んで実現しているなぁと思います。今後も大田原は子育て支援に力を入れてくださる事に期待しています。
- ・母子家庭であるが、所得があるということで、無料化になるまでは払ってきました。所得があるということですが、やはり給食費は負担でしたが無料化になり、負担が軽減されたすかっています。

一部を変更して継続

- ・給食費が無料であることにとても感謝しています。しかし、親の責任として子供の給食費を納めるという事は当然だとも思います。市民全体で子育てを支援するのは分かりますが、税金を使うとなると…半額でもいいと思います。

廃止を望む

- ・給食費の財源の使い道にも問題があるのでは？近年、異常気象が続き、今年も猛暑です。教室は風通しが悪く、とても暑い教室だと言っています。教室にエアコンを設置しても良い時代だと思います。効率良く勉強させたいです。
- ・個人的意見ですが、給食費が無料化になり、助かるということもありますが、本来であれば自分の子供の食べている給食費を払うということは当然の事ではないかと思っています。親は自分の子供について責任を持つべきだと思います。

その他の意見

- ・今の給食はメニューがたくさんありおいしそうだなあとと思います。子供達には「食」についていろいろなことを学んでほしいです。
- ・野菜や肉や魚など食べるものに関わる人たちの話や栄養の話をしっかり伝えていかなくては駄目だと思います。
- ・家ではあまり野菜を食べてはくれないのですが、学校の給食で野菜を頑張ってたべたらおいしかったということを知って聞くのでとても助かっています。毎日栄養面を考えおいしい給食を作っていただきとても感謝しています。ありがとうございます。
- ・給食費として納める事が学校に入学してからの経験なので、余り意識がうすいのが本音です。子育て世代にはありがたいと思う反面我が子の食事代くらいは・・・という思いもあります。
- ・給食は、バランスよく、おいしく調理していただけるので好き嫌いもなく、食べられるようなので助かります。ありがとうございます。
- ・給食費の無料化に隠されて、さまざまな教育費等の負担が増えているとききます。全体の子育て支援や、税金の軽減など考えてほしいと思います。

○自由意見への回答 保護者からの質問にお答えします。

Q 給食費が無料になったことでおかずが減り、冷凍やレトルト食品の使用が多くなったように感じる。給食の質を低下させないでほしい。また、パンとスパゲッティなど、炭水化物を2種類出すような献立はできるだけ避けてもらえないか。

A 冷凍食品などは無料化の前後で使用回数に変化はありません。無料化するまで保護者が支払っていた給食費と同じ金額を市が負担しており、給食の質を下げるという心配はありませんので、ご安心ください。炭水化物を一度に2種類出す場合もありますが、パンと麺類などを組み合わせることにより、児童生徒の年齢に応じたエネルギーなどを満たすよう献立を作成していますので、ご理解いただきたいと思います。

Q 給食費負担の公平性を保つためにも、有料だった頃の給食費未納者への対応（徴収など）をきちんとしてほしい。

A 子どもおよび保護者の給食費負担に関する不公平感を解消するため、無料化したのちも給食費未納者への対応として、学校長などが督促・徴収を実施しています。また、教育委員会においても督促を行っており、今後も引き続き実施していきます。

Q 使用している米や野菜などの生産地をお知らせいただきたい。

A 米は黒羽地区で生産されたものを使用しています。野菜は、各学校の近くの農家や直売所で直接購入するなど、季節の野菜はできる限り地場産品を使用するよう各学校で取り組んでいます。

Q 給食費無料化に伴って、削減された事業を教えてください。

A 特定の事業を中止して給食費を無料化したものではありません。市が行う全ての事業において経費などを節減することにより給食費無料化を実施しています。

— 全体のまとめ —

保護者がこれまで給食費として支払っていたお金は、生活費として使用しているとの回答が5割以上を占めており、そのほとんどが子どものために有効に使われているということが問3の回答からわかりました。習い事や部活動、高校・大学進学のための貯金など、子どもへの教育や将来の備えとしているとの回答も多くありました。中には、子どもを塾に通わせることができるようになったという回答もあり、児童生徒の教育を受ける機会を増加させたということが出来ます。

問4では、子どもに給食費が無料であることを教えている、または教えたいと考えている保護者が全体の約8割にのぼり、親子で話し合いの場を設けている家庭が多くあることがわかりました。また、無料化の理由について、「市民全体がその税金で子育てを支援するため」と子どもに教えている、または教えたいと考える保護者は6割近くであり、給食費の無料化が納税の大切さや地域住民への感謝の心を教育するきっかけになっていることがわかりました。

自由意見の中には、保護者の経済的負担が軽減され市民全体で支えてもらっていることに感謝し、無料化の継続を望む保護者が多数いる一方、無料化に感謝しながらも給食費の一部または全額を保護者が負担し、市は他の事業を優先して充実させるべきであるとの意見もありました。このことから、多くの保護者が給食無料化に関心を持ち、子どもたちや子育て世代、高齢者まですべての市民がより充実した生活を送るにはどうしたらよいかを深く考えていることがわかりました。調査結果を踏まえ、学校給食サービス事業費等補助金に関して周知を図り、教育環境をより一層充実させるための取り組みを行っていきます。